

病虫害防除技術情報第 11 号

令和 7 年 9 月 12 日
三重県病虫害防除所

**シロイチモジヨトウが増加しています。
ほ場を観察して初期防除に努めましょう。**

1 対象作物：ネギ、ダイズ、花き類

2 対象病虫害名：シロイチモジヨトウ

3 発生状況と気象の状況

(1) 県予察ほ(松阪市嬉野川北町)におけるフェロモントラップ誘殺数(8月第3半旬から9月第2半旬)は1,207 頭(平年 165 頭)と平年の7倍以上です(図1)。特に、9月4日夜から9月9日未明の誘殺数が1日当たり 100 頭を超えました。

(2) ネギの巡回調査(9月第1週から第2週)では、青ネギにおけるシロイチモジヨトウの被害葉率は 5.5%(過去 10 年平均 6.2%)と平年並、白ネギにおけるシロイチモジヨトウの被害葉率は 0.2%(過去8年平均 0.8%)とやや少ないですが、発生初期の幼虫が確認されていることから、今後多発となる可能性があります。

(3) 1か月予報(9月 11 日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の気温は高い見込みで、シロイチモジヨトウの発生に好適条件が続くと考えられます。

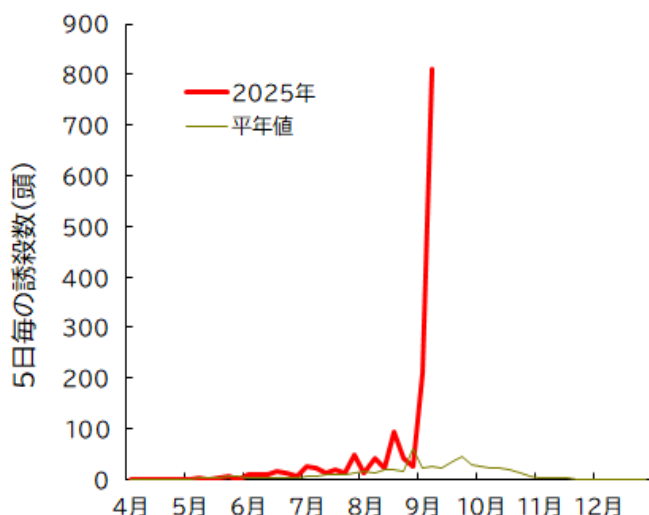


図1:
フェロモントラップによるシロイチ
モジヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

4 防除の注意事項

(1) こまめにはほ場を見回り、ネギにおいては白く透けて垂れ下がった葉、ダイズや花き類については食害により穴の開いた葉を探すなどして発生初期の防除に努めてください(図2c、d、e)。

(2) 老齢になるにしたがって農薬の効果が低下するので、葉の中に入り込む前の若齢のうちに防除してください(図2b)。

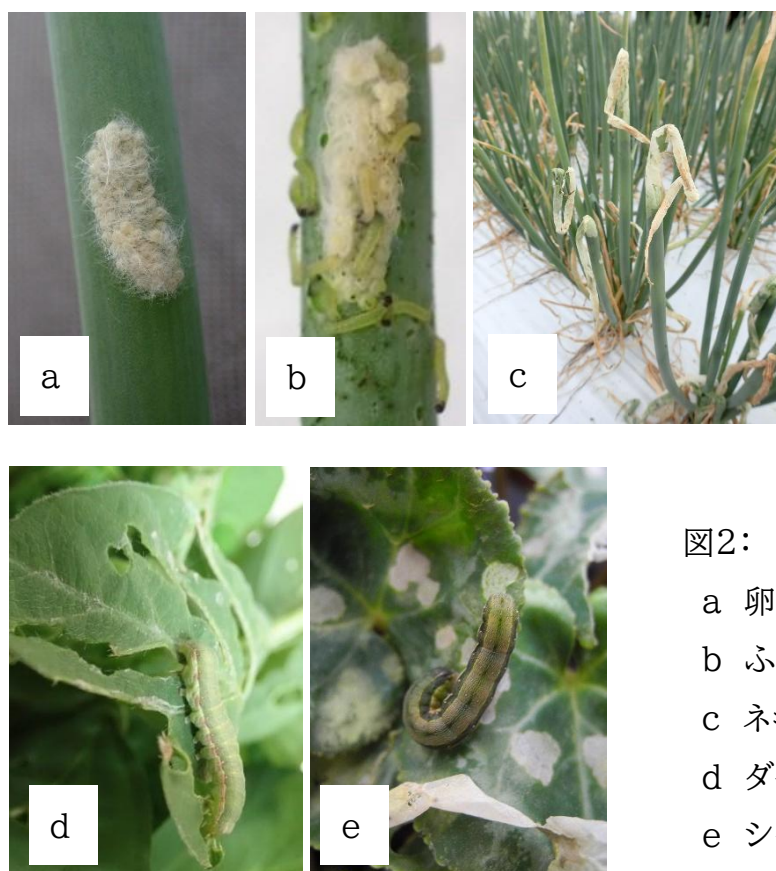


図2:

- a 卵塊
- b ふ化幼虫
- c ネギの被害の様子
- d ダイズの食害の様子、
- e シクラメン葉の食害の様子

(3) 薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。

(4) 成虫の産卵防止対策には性フェロモン剤(交信かく乱剤)を利用する方法もあります。

(5) 薬剤は農薬情報検索システム、三重県農薬情報システムで調べることができます。

農林水産省の「農薬情報検索システム」:<https://pesticide.maff.go.jp/>

三重県農薬情報システム:

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie>

(6) シロイチモジヨトウのフェロモントラップ誘殺状況は、以下の野菜の病害虫のページにて随時更新しています。

<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39619007432.htm>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

予報発行時の e メール連絡サービス(病害虫情報メール)の登録はこちら→

